

# 演習問題集 4年上第9回・くわしい解説

## 目次

反復問題(基本)	1	…p.2
反復問題(基本)	2	…p.5
反復問題(基本)	3	…p.6
反復問題(基本)	4	…p.10
反復問題(練習)	1	…p.11
反復問題(練習)	2	…p.12
反復問題(練習)	3	…p.14
反復問題(練習)	4	…p.15
反復問題(練習)	5	…p.16
トレーニング①		…p.18
トレーニング②		…p.20
トレーニング③		…p.22
トレーニング④		…p.23
実戦演習①		…p.24
実戦演習②		…p.25
実戦演習③		…p.27
実戦演習④		…p.28

**すぐる学習会**

<http://www.suguru.jp>

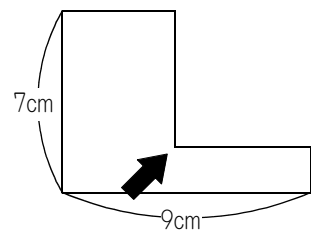
反復問題(基本) 1 (1)

長方形にはたてが2本，横も2本あります。  
 長方形のまわりの長さは，「たて+横」が2セットあると考えて，  
 $(6 + 14) \times 2 = 40$  (cm) です。

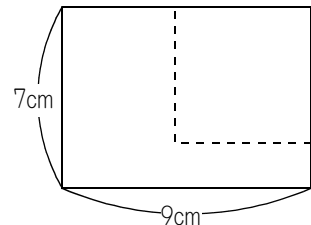
長方形の面積は，「たて×横」ですから， $6 \times 14 = 84$  (cm<sup>2</sup>) です。

反復問題(基本) 1 (2)

このような図形のまわりの長さを求める  
 ときは，右図の矢印の部分をごんごんたたいて，



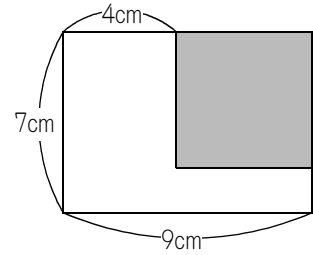
右図のように長方形にしても，まわりの  
 長さは変わらないことを利用します。  
 (もちろん面積は変わります。)



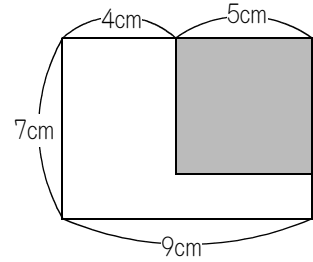
長方形にはたてが2本，横も2本あります。  
 よって，「たて+横」が2セットあると考えて，  
 $(たて+横) \times 2$  という式で，まわりの長さを求めます。  
 $(7 + 9) \times 2 = 32$  (cm)。

次に、面積を求めます。

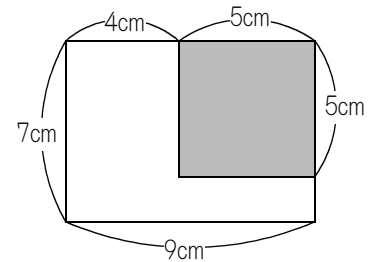
長方形から切り取ったのは、右図のかげをつけた部分です。



かげをつけた部分の、横の長さは  $9 - 4 = 5$  (cm) です。

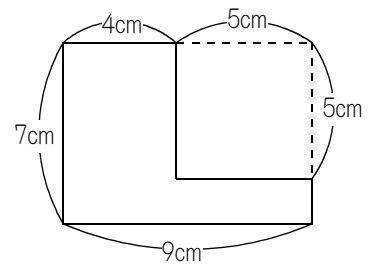


切り取った部分は正方形であることが問題に書いてあったので、かげをつけた部分のたての長さも5cmです。



長方形全体の面積は、 $7 \times 9 = 63$  (cm<sup>2</sup>) で、  
かげをつけた部分の面積は、 $5 \times 5 = 25$  (cm<sup>2</sup>) ですから、

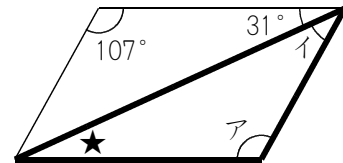
右の図形の面積は、 $63 - 25 = 38$  (cm<sup>2</sup>) です。



反復問題(基本) 1 (3)

平行四辺形の向かい合った角の大きさは等しいので、アは **107** 度です。

また、右の図の★の角の大きさはゼット形（さっ角）によって **31** 度です。

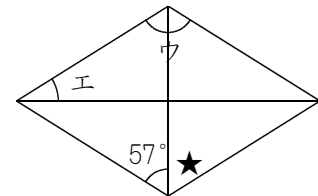


三角形の内角の和は180度ですから、太線の三角形の内角の和も180度になるので、イの角の大きさは、 $180 - (31 + 107) = \mathbf{42}$  (度) になります。

ひし形に対角線を2本引くと、右の図のように4つの同じ形をして同じ大きさの直角三角形ができます。

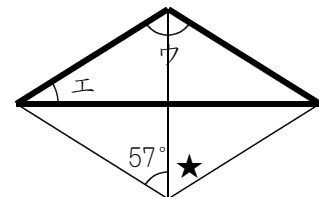
★は57度になるので、ウと向かい合った角の大きさは  $57 + 57 = 114$  (度) です。

よってウも、**114** 度になります。



また、右の図の太線の三角形は二等辺三角形です。

ウは114度ですから、エは、 $(180 - 114) \div 2 = \mathbf{33}$  (度) になります。



反復問題(基本) 1 (4)

ア…平行四辺形の面積 = 底辺 × 高さ =  $12 \times 8 = \mathbf{96}$  (cm<sup>2</sup>)

イ…台形の面積 = (上底 + 下底) × 高さ ÷ 2 =  $(6 + 12) \times 10 \div 2 = \mathbf{90}$  (cm<sup>2</sup>)

※ このような計算の場合は、まず  $6 + 12 = 18$  としたあと、18を2で割ることを先にして9とし、次に  $9 \times 10$  を計算して90にすると、ほとんど暗算で答えを求めることができます。

ウ…ひし形の面積 = 対角線 × 対角線 ÷ 2 =  $11 \times 6 \div 2 = \mathbf{33}$  (cm<sup>2</sup>)

※ このような計算の場合は、まず6を2で割って3とし、次に  $11 \times 3$  を計算して33にすると、ほとんど暗算で答えを求めることができます。

反復問題(基本) 2

台形の面積は、「(上底+下底) × 高さ ÷ 2」で求めることができます。

上底であるADの長さを□cmにします。

下底は13cm, 高さは9cm, 面積は90cm<sup>2</sup>ですから,

$$(\square + 13) \times 9 \div 2 = 90 \quad \text{となります。あとは逆算です。}$$

$$90 \times 2 = 180$$

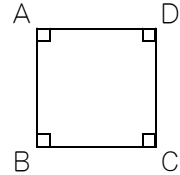
$$180 \div 9 = 20$$

$$20 - 13 = 7$$

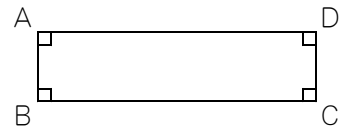
よってADの長さは, 7cmになります。

反復問題(基本) 3 (1)

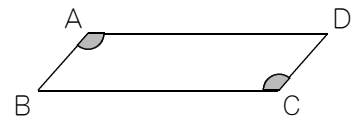
正方形はすべての角が直角なので、角Aと角Cの大きさはもちろん等しく、OKです。



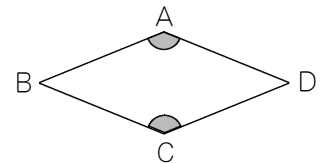
長方形もすべての角が直角なので、角Aと角Cの大きさはもちろん等しく、OKです。



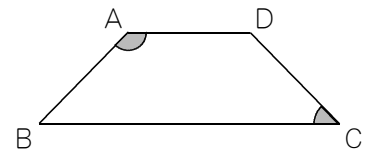
平行四辺形は向かい合った角の大きさが等しいので、角Aと角Cの大きさも等しく、OKです。



ひし形は向かい合った角の大きさが等しいので、角Aと角Cの大きさも等しく、OKです。



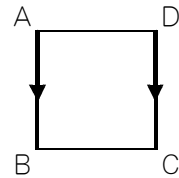
台形は角Aと角Cは等しいとは限りません。



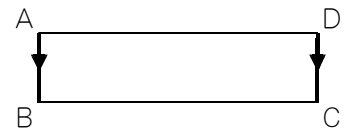
以上のことから、答えはア・イ・ウ・エになります。

反復問題(基本) 3 (2)

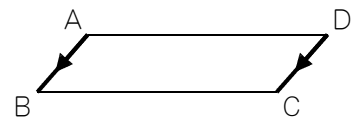
正方形の場合，辺ABと辺DCは平行で，長さが等しくなっているので，OKです。



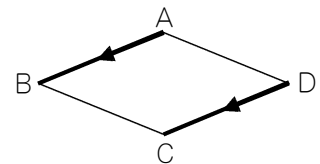
長方形の場合も，辺ABと辺DCは平行で，長さが等しくなっているので，OKです。



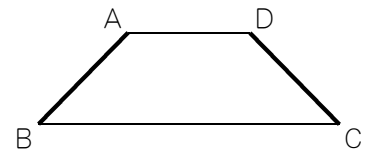
平行四辺形の場合も，辺ABと辺DCは平行で，長さが等しくなっているので，OKです。



ひし形の場合も，辺ABと辺DCは平行で，長さが等しくなっているので，OKです。



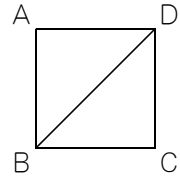
台形の場合は，辺ABと辺DCは平行ではないので，ダメです。



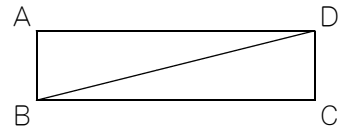
以上のことから，答えはア・イ・ウ・エになります。

反復問題(基本) 3 (3)

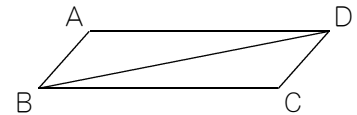
正方形の場合は，三角形  $ABD$  は二等辺三角形（本当は直角二等辺三角形）になっているのでOKです。



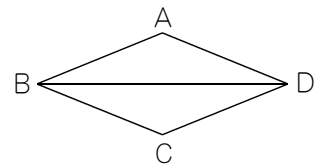
長方形の場合は，三角形  $ABD$  は右の図のように二等辺三角形にならない場合があるので，ダメです。



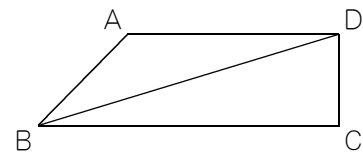
平行四辺形の場合は，三角形  $ABD$  は右の図のように二等辺三角形にならない場合があるので，ダメです。



ひし形は4つの辺の長さがすべて等しいので，三角形  $ABD$  は辺  $AB$  と辺  $AD$  の長さが等しくなり，二等辺三角形になるのでOKです。



台形の場合は，辺  $AB$  と辺  $AD$  は等しくないので，三角形  $ABD$  は二等辺三角形になりません。

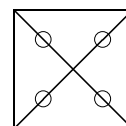


よって，答えは **ア・エ** になります。

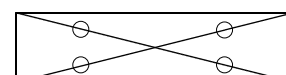


反復問題(基本) 3 (4)

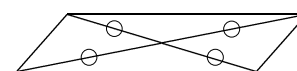
正方形の場合は，2本の対角線が真ん中で交わるので，OKです。



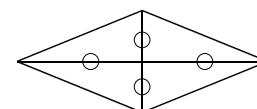
長方形の場合も，2本の対角線が真ん中で交わるので，OKです。



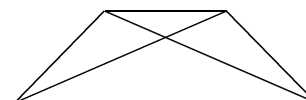
平行四辺形の場合も，2本の対角線が真ん中で交わるので，OKです。



ひし形の場合も，2本の対角線が真ん中で交わるので，OKです。



台形の場合は，2本の対角線が真ん中で交わってはいないので，ダメです。

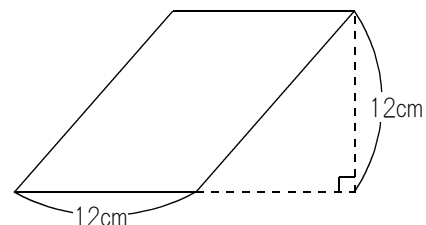


よって，2本の対角線が真ん中で交わっているのは，ア・イ・ウ・エになります。

反復問題(基本) 4 (1)

平行四辺形の面積は、「底辺×高さ」で求められます。

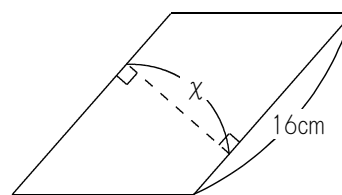
右の図において、底辺は12cmで、高さも12cmなので、面積は、 $12 \times 12 = 144$  (cm<sup>2</sup>) になります。

反復問題(基本) 4 (2)

(2)では、底辺を16cmにします。  
そのときの高さは $x$ cmになります。  
面積は、(1)で求めた通り、144cm<sup>2</sup>です。

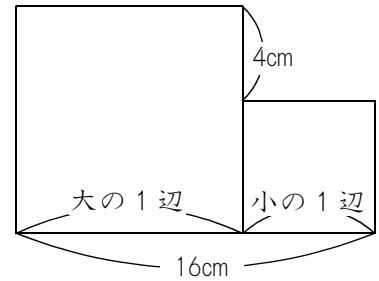
平行四辺形の面積は、「底辺×高さ」で求められますから、  
 $16 \times x = 144$  となります。

よって $x$ の長さは、 $144 \div 16 = 9$  (cm) になります。

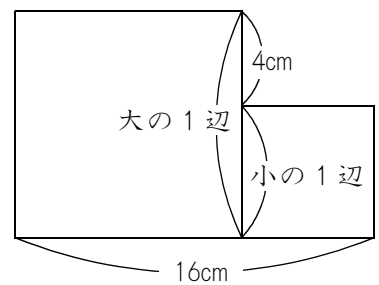


反復問題(練習) 1

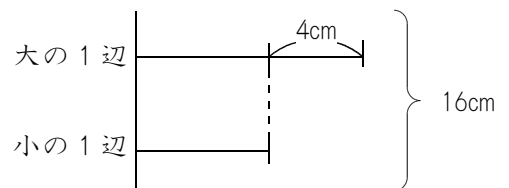
右の図のように，大の1辺と小の1辺の和は16cmで，



大の1辺と小の1辺の差は4cmです。

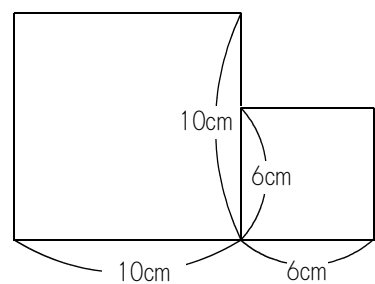


和と差がわかっているので和差算になり，  
右のような線分図になります。



小の1辺は， $(16 - 4) \div 2 = 6(\text{cm})$ で，  
大の1辺は  $6 + 4 = 10(\text{cm})$ です。

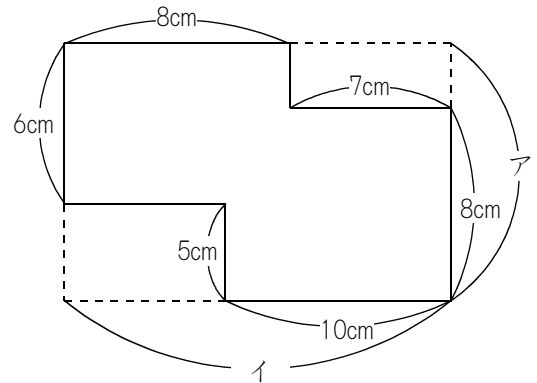
よって右の図のようになり，  
大の正方形の面積は  $10 \times 10 = 100(\text{cm}^2)$ ，  
小の正方形の面積は  $6 \times 6 = 36(\text{cm}^2)$ です。



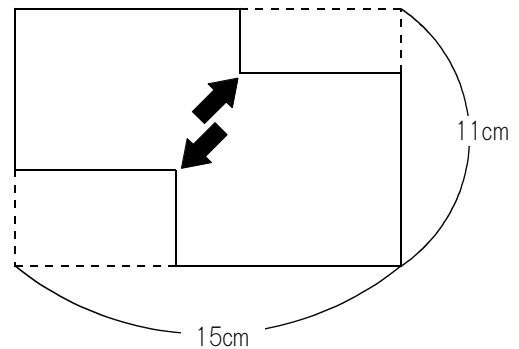
図形全体の面積は，  
 $100 + 36 = 136(\text{cm}^2)$ になります。

反復問題(練習) 2 (1)

右の図のように、点線部分をつけ加えて  
大きな長方形すると、  
アは  $6 + 5 = 11$  (cm) です。  
イは  $8 + 7 = 15$  (cm) です。

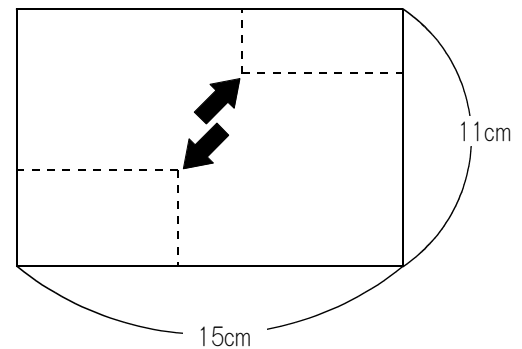


このような図形のまわりの長さを求めるとき  
は、右図の矢印の部分をごんごんたたいて、



右図のように長方形にしても、まわりの  
長さは変わらないことを利用します。  
(もちろん面積は変わります。)

長方形にはたてが2本、横も2本あります。  
よって、「たて+横」が2セットあると考  
えて、 $(たて+横) \times 2$  という式で、まわりの  
長さを求めることができます。



よって、まわりの長さは、 $(11 + 15) \times 2 = 52$  (cm) になります。

反復問題(練習) 2 (2)

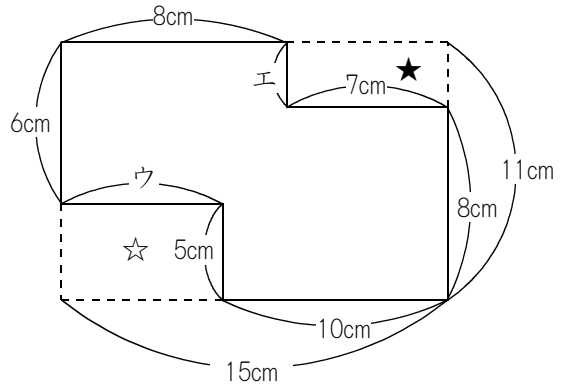
右の図全体の長方形の面積から、  
★と☆の長方形の面積を引けば、  
この図形の面積が求められます。

全体の長方形は、  
たてが  $6 + 5 = 11$  (cm)、  
横が  $8 + 7 = 15$  (cm) ですから、  
面積は  $11 \times 15 = 165$  (cm<sup>2</sup>) です。

☆の長方形は、ウの長さは  
 $15 - 10 = 5$  (cm) です。  
面積は、 $5 \times 5 = 25$  (cm<sup>2</sup>) です。

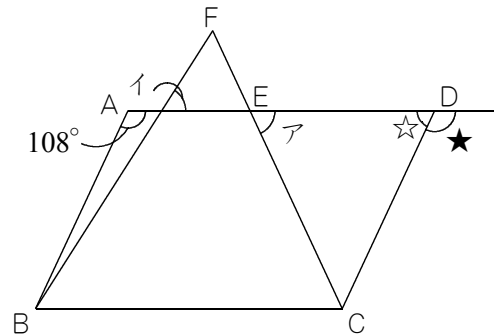
★の長方形は、エの長さは  $11 - 8 = 3$  (cm) です。  
面積は、 $3 \times 7 = 21$  (cm<sup>2</sup>) です。

よって、この図形の面積は、 $165 - (25 + 21) = 119$  (cm<sup>2</sup>) です。

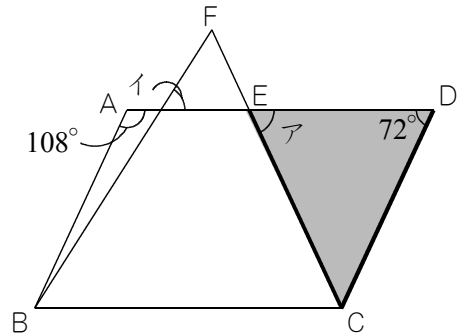


反復問題(練習) 3 (1)

右の図の★は角Aと同じなので、108度です。  
 よって、☆は、 $180 - 108 = 72$  (度)です。

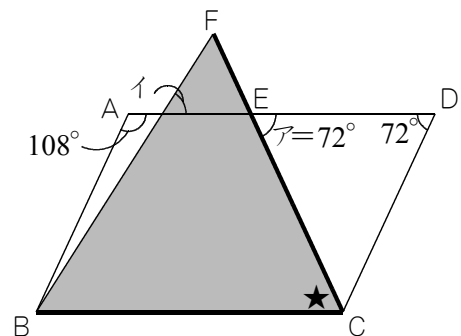


問題には、DCとCEの長さが等しいと書いてあったので、右の図のかげをつけた三角形は、二等辺三角形です。  
 よって、角アは、角Dと同じく **72** 度になります。



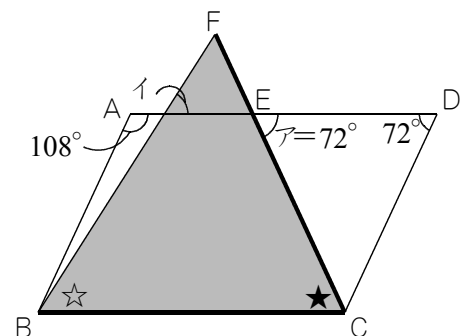
反復問題(練習) 3 (2)

問題には、BCとCFの長さが等しいと書いてあったので、右の図のかげをつけた三角形は、二等辺三角形です。  
 また、ゼット形(さっ角)によって、★は、角アと等しく72度です。



よって、右の図の☆は、 $(180 - 72) \div 2 = 54$  (度)です。

したがって、イも **54** 度になります。

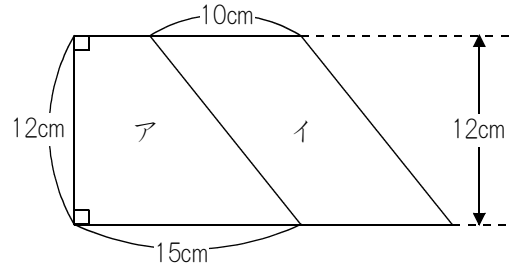


## 反復問題(練習) 4 (1)

平行四辺形の面積は、「底辺×高さ」で求められます。

平行四辺形イの底辺を10cmにすると、高さは右の図のように12cmになります。

よって、平行四辺形イの面積は、 $10 \times 12 = 120$  (cm<sup>2</sup>) になります。



## 反復問題(練習) 4 (2)

(1)で、平行四辺形イの面積は120cm<sup>2</sup>であることがわかりました。

また、問題には、台形アと平行四辺形イの面積が等しいと書いてありました。

よって、台形アの面積も120cm<sup>2</sup>になります。

台形の面積は、「(上底+下底)×高さ÷2」で求められます。

上底を右の図のように $x$ cmにします。

下底は15cmです。

高さは12cmです。

よって、 $(x + 15) \times 12 \div 2 = 120$  になります。

あとは逆算をして、 $x$ を求めます。

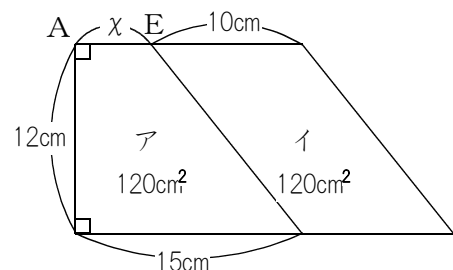
$$120 \times 2 = 240$$

$$240 \div 12 = 20$$

$$20 - 15 = 5$$

よって、 $x$ は5cmです。

求めたいのは、ADの長さですから $x$ なので、答えも5cmになります。

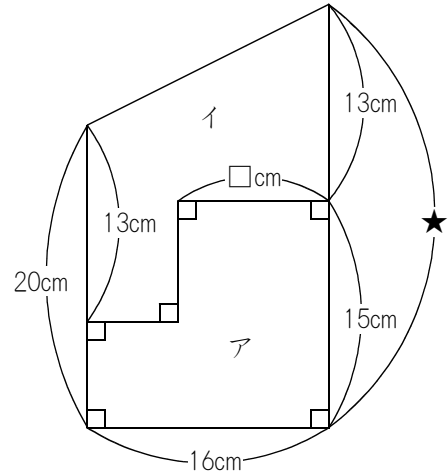


反復問題(練習) 5 (1)

右の図全体は台形で、上底は20cm、  
 下底は ★ = 13 + 15 = 28(cm)、  
 高さは16cmです。

この台形の面積は、  
 (上底 + 下底) × 高さ ÷ 2  
 = (20 + 28) × 16 ÷ 2  
 = 384 (cm<sup>2</sup>)です。

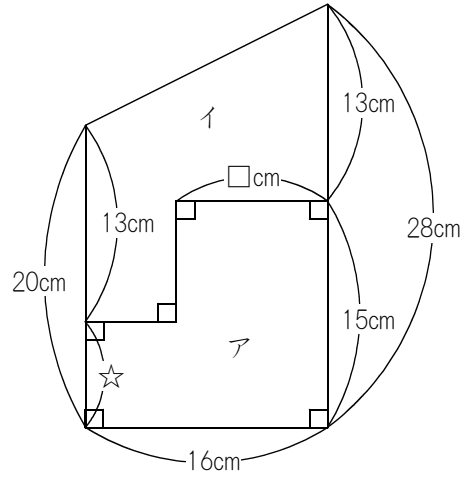
アとイは同じ面積なので、アの面積は、  
 384 ÷ 2 = **192** (cm<sup>2</sup>)になります。





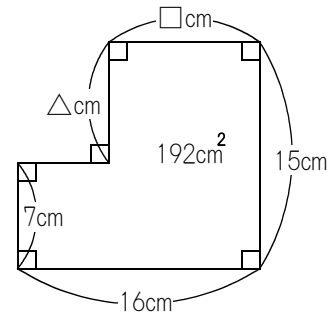
反復問題(練習) 5 (2)

右の図の☆の長さは、 $20 - 13 = 7$  (cm)です。



アの部分のみ取り出すと、右の図のようになります。

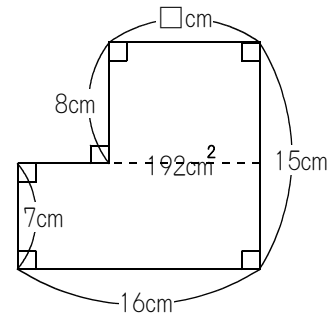
△の部分の長さは、 $15 - 7 = 8$  (cm)です。



右の図のように上下2つの長方形に分けたとすると、下の部分の長方形の面積は、 $7 \times 16 = 112$  (cm<sup>2</sup>)です。

上の部分の長方形の面積は、 $192 - 112 = 80$  (cm<sup>2</sup>)になるので、 $8 \times \square = 80$  となります。

よって□の長さは、 $80 \div 8 = 10$  (cm)です。

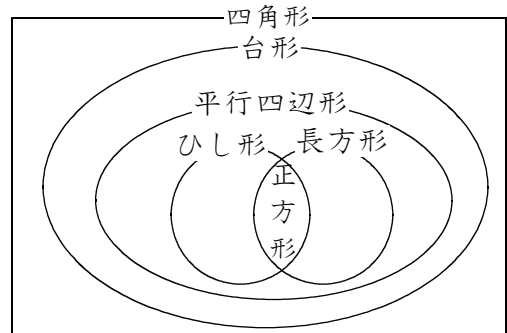


トレーニング ①

右の図を書けるようになりましょう。

この図が書けたら、たとえば平行四辺形にあてはまる性質は必ずひし形・長方形・正方形にもあてはまることがわかります。

また、ひし形の性質も、長方形の性質も、両方持っている図形が正方形であることもわかります。



まず、「向かい合う2組の辺が平行」という性質について考えます。

台形は、向かい合う1組だけが平行なので、この性質にあてはまりません。

しかし平行四辺形は、向かい合う2組の辺が平行なので、OKです。

平行四辺形がOKなら、ひし形・長方形・正方形もOKです。

次に、「向かい合う2組の角が等しい」という性質について考えます。

台形は、(特別な場合をのぞいて)向かい合う角は等しくないので、ダメです。

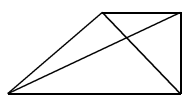
しかし平行四辺形は、向かい合う2組の角が等しいので、OKです。

平行四辺形がOKなら、ひし形・長方形・正方形もOKです。

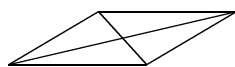
次に、「2本の対角線の長さが等しい」という性質について考えます。

台形・平行四辺形・ひし形は、(特別な場合をのぞいて)2本の対角線の長さは等しくないので、ダメです。

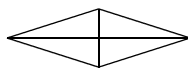
しかし、長方形と正方形は、2本の対角線の長さが等しいので、OKです。



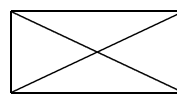
台形



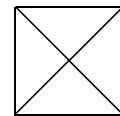
平行四辺形



ひし形



長方形

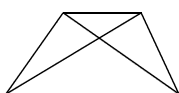


正方形

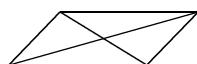
次に、「2本の対角線が直角に交わる」という性質について考えます。

台形・平行四辺形・長方形は、(特別な場合をのぞいて)2本の対角線は直角には交わらないので、ダメです。

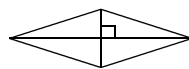
しかし、ひし形と正方形は、2本の対角線が直角に交わるので、OKです。



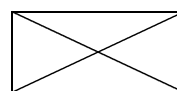
台形



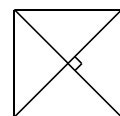
平行四辺形



ひし形



長方形



正方形

よって、答えは下の表のようになります。

	向かい合う2組の辺が平行	向かい合う2組の角が等しい	2本の対角線の長さが等しい	2本の対角線が直角に交わる
台形	×	×	×	×
平行四辺形	○	○	×	×
ひし形	○	○	×	○
長方形	○	○	○	×
正方形	○	○	○	○

トレーニング ②

(1) まわりの長さ… 8 cmが4本あるので、 $8 \times 4 = 32$  (cm)

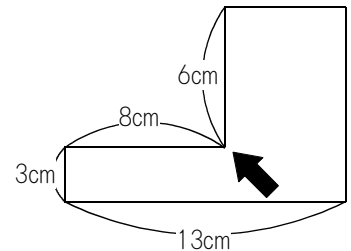
面積 … 一辺  $\times$  一辺  $= 8 \times 8 = 64$  (cm<sup>2</sup>)

(2) まわりの長さ… 長方形にはたてが2本，横も2本あります。

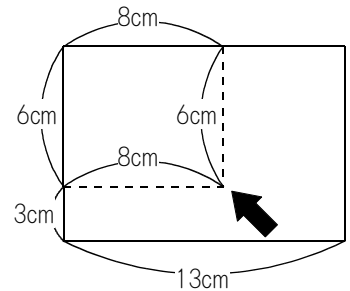
長方形のまわりの長さは，「たて+横」が2セットあると考えて，  
 $(7 + 14) \times 2 = 42$  (cm) です。

面積 … たて  $\times$  横  $= 7 \times 14 = 98$  (cm<sup>2</sup>)

(3) まわりの長さ… このような図形のまわりの長さを  
 求めるときは，右図の矢印の部分を  
 ゴンゴンたたいて，



右図のように長方形にしても，ま  
 わりの長さは変わらないことを利用  
 します。  
 (もちろん面積は変わります。)



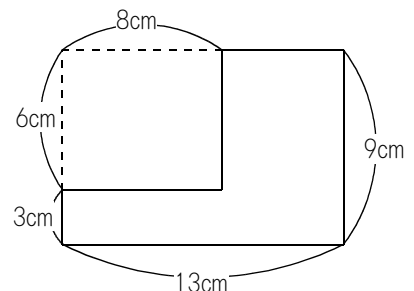
長方形にはたてが2本，横も2本  
 あります。

よって，「たて+横」が2セット  
 あると考えて，(たて+横)  $\times$  2 という式で，まわりの長さを  
 求めることができます。

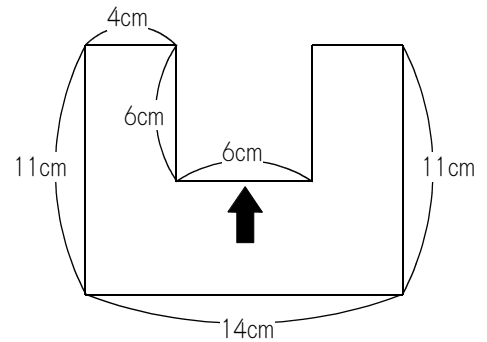
たての長さは  $6 + 3 = 9$  (cm)，横の長さは13 cmですから，  
 $(9 + 13) \times 2 = 44$  (cm) になります。

面積 … たて9 cm，横13 cmの長方形から，  
 たて6 cm，横8 cmの長方形をとりの  
 ぞけばよいので，

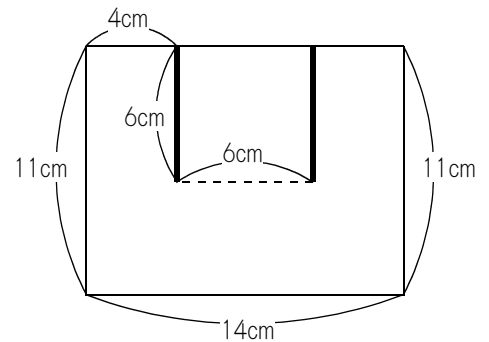
$9 \times 13 - 6 \times 8 = 69$  (cm<sup>2</sup>) に  
 なります。



(4) まわりの長さ… このような図形のまわりの長さを求めるときは、右図の矢印の部分をごんごんたたいて、



右図のようにしても、まわりの長さは変わりません。  
(もちろん、面積は変わります。)

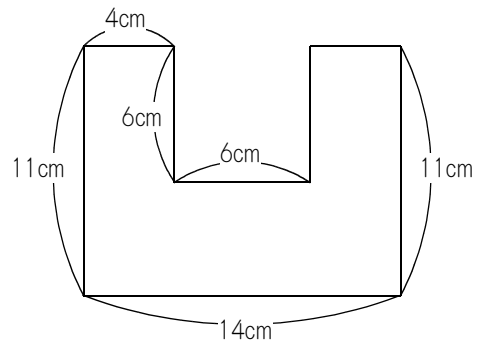


長方形にはたてが2本、横も2本あります。

よって、「たて+横」が2セットあると考えて、 $(たて+横) \times 2 + 太線 \times 2$  という式で、まわりの長さを求めることができます。

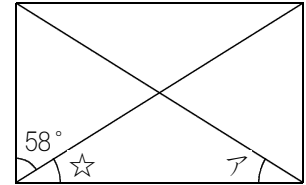
$$(11 + 14) \times 2 + 6 \times 2 = 62 \text{ (cm) になります。}$$

面積 … たて11cm、横14cmの長方形から、1辺の長さが6cmの正方形を引けばよいので、  
 $11 \times 14 - 6 \times 6 = 118 \text{ (cm}^2\text{)}$  になります。

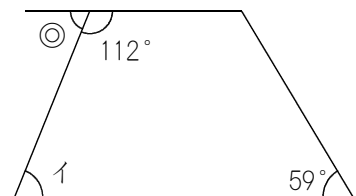


トレーニング ③

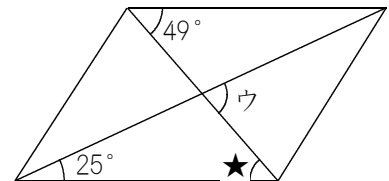
- (1) 右の図の☆は、 $90 - 58 = 32$  (度) です。  
アは☆と同じ角度なので、答えも **32** 度です。



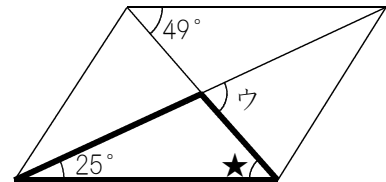
- (2) 右の図の◎は、 $180 - 112 = 68$  (度) です。  
ゼット形 (さっ角) により、イは◎と同じ角度なので、答えも **68** 度です。



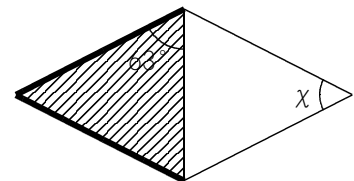
- (3) ゼット形 (さっ角) により、右の図の★は **49** 度です。



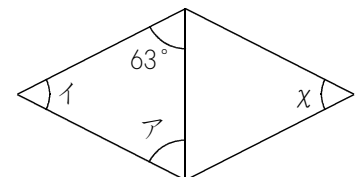
外角の定理を利用して、  
 $ウ = 25 + \star = 25 + 49 = 74$  (度) です。



- (4) ひし形は、4辺の長さがどれも等しいので、右の図の2本の太線の長さも等しく、しゃ線をつけた三角形は、二等辺三角形です。



よって右の図のアは **63** 度です。  
イは、 $180 - 63 \times 2 = 54$  (度) です。



ひし形は、向かい合った角度は等しいので、  
 $x$  も **54** 度になります。

## トレーニング ④

(1) 平行四辺形の面積 = 底辺 × 高さ =  $15 \times 12 = 180$  (cm<sup>2</sup>)

(2) 台形の面積 = (上底 + 下底) × 高さ ÷ 2 =  $(8 + 12) \times 9 \div 2 = 90$  (cm<sup>2</sup>)

(3) ひし形の面積 = 対角線 × 対角線 ÷ 2 =  $9 \times 18 \div 2 = 81$  (cm<sup>2</sup>)

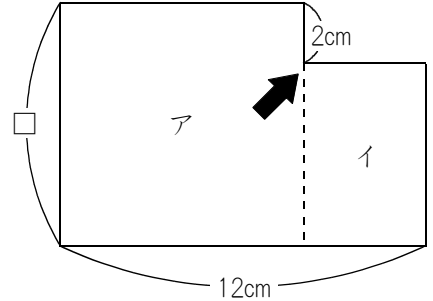
(4) 平行四辺形の面積は、「底辺 × 高さ」で求められます。

底辺を8cmにすると、高さが書いてないので面積を求めることができません。

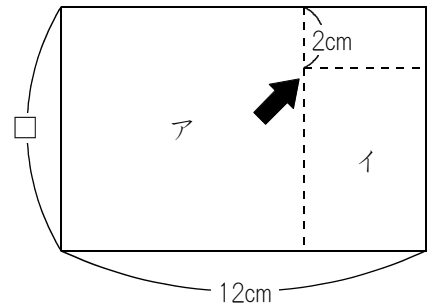
底辺を6cmにすると、高さは7cmになりますから、  
平行四辺形の面積 = 底辺 × 高さ =  $6 \times 7 = 42$  (cm<sup>2</sup>)

実戦演習 ①

- (1) このような図形のまわりの長さを求めるときは、右図の矢印の部分をごんごんたたいて、



右図のように長方形にしても、まわりの長さは変わらないことを利用します。  
(もちろん面積は変わります。)



長方形にはたてが2本、横も2本あります。  
よって、「たて+横」が2セットあると考えて、  
(たて+横) × 2 という式で、まわりの長さを求めることができます。

たての長さは □cm、横の長さは12cmで、まわりの長さは問題に書いてある通り40cmですから、

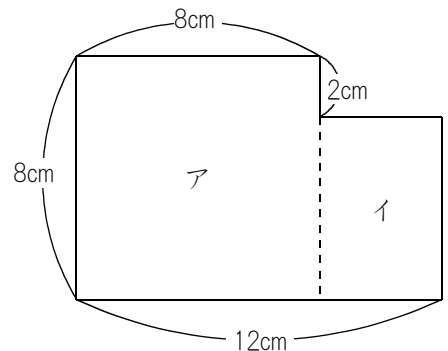
$$(\square + 12) \times 2 = 40$$

よって、 $40 \div 2 = 20$        $20 - 12 = 8$

□は、8cmになります。

- (2) アは正方形ですから、たてが8cmだったら、横も8cmです。

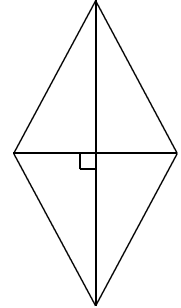
よって右の図のようになり、長方形イのたては  $8 - 2 = 6$  (cm)、横は  $12 - 8 = 4$  (cm) になるので、長方形イのまわりの長さは、  
(たて+横) × 2 = (6 + 4) × 2 = 20 (cm) になります。



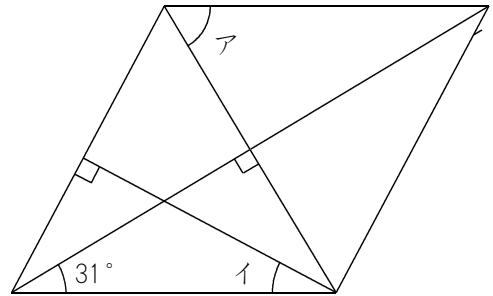


実戦演習 ②

ひし形は，2本の対角線が直角に交わります。



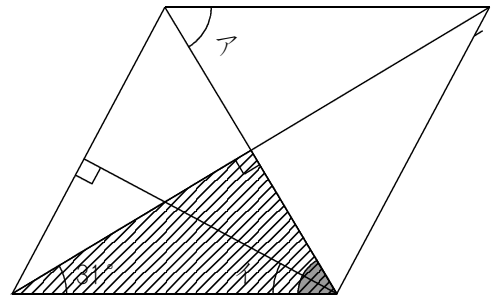
この問題の場合もひし形なので，2本の対角線が直角に交わっています。



右の図のしゃ線をつけた三角形は直角三角形です。

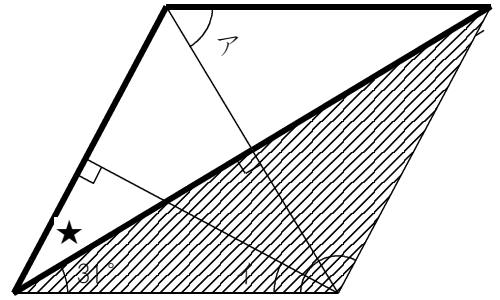
かげをつけた角度は，  
 $180 - (90 + 31) = 59$  (度) です。

ゼット形 (さっ角) なので，アの角度も  
**59** (度) になります。

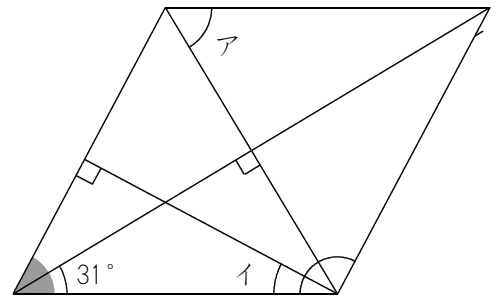


(次のページへ)

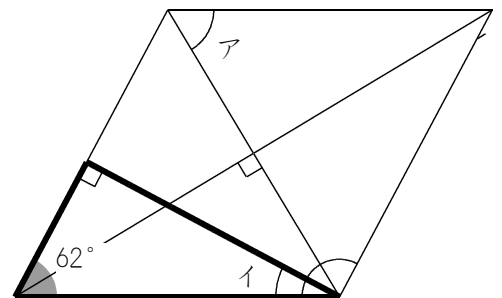
右の図の，太線でかこまれた三角形と，しゃ線でかこまれた三角形は，形も大きさも同じです。  
よって★の角度は31度です。



したがって，右の図のかげをつけた角度は，  
 $31 \times 2 = 62$  (度) です。



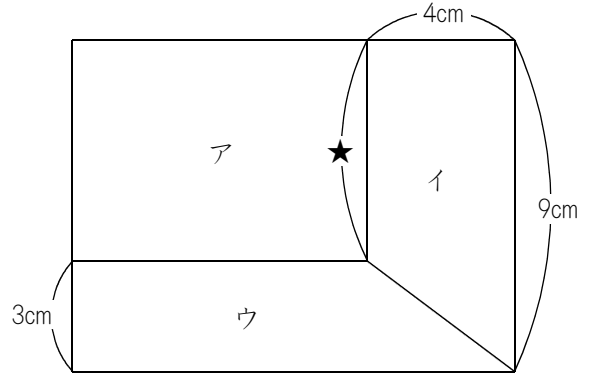
右の太線でかこまれた三角形に注目すると，  
三角形の内角の和は180度ですから，  
イは  $180 - (90 + 62) = 28$  (度) になります。



実戦演習 ③

- (1) 右の図の★の長さは、 $9 - 3 = 6$  (cm)です。

よって、台形イの面積は、  
 (上底+下底) × 高さ ÷ 2  
 $= (6 + 9) \times 4 \div 2$   
 $= 30$  (cm<sup>2</sup>) になります。



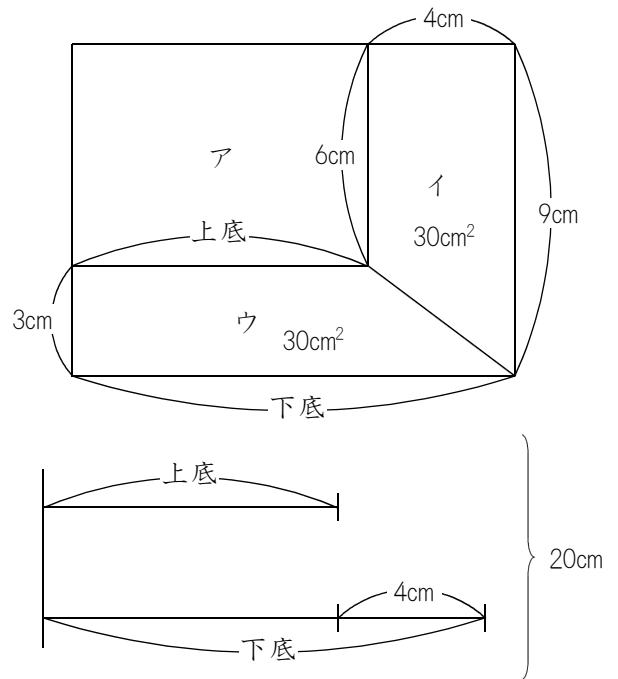
- (2) (1)で、台形イの面積は30 cm<sup>2</sup>であることがわかりました。  
 また、問題によるとイとウの面積が等しいのですから、台形ウの面積も30 cm<sup>2</sup>です。

台形ウの上底と下底はわかっていませんが、台形の面積の公式にあてはめると、  
 (上底+下底) × 高さ ÷ 2 = 30  
 逆算をして、  
 $30 \times 2 = 60$        $60 \div 3 = 20$

よって、台形ウの「上底+下底」は20 cmであることがわかりました。

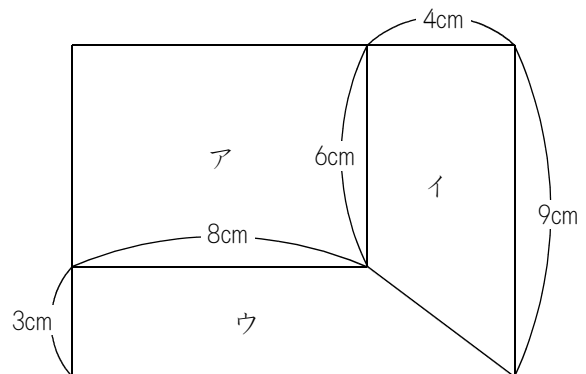
また、上底と下底の長さの差は4 cm ですから、右のような線分図になります。

上底は、 $(20 - 4) \div 2 = 8$  (cm) になります。



台形ウの上底は、長方形アの横の長さでもあります。

長方形アは、たてが6 cm、横が8 cm ですから、面積は、 $6 \times 8 = 48$  (cm<sup>2</sup>) になります。



実戦演習 ④

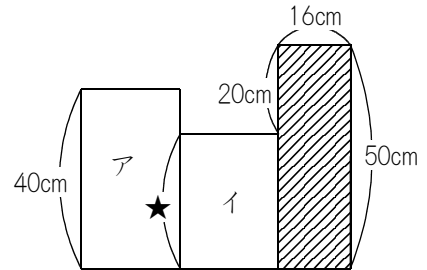
(1) 右の図のように、ア、イ、しゃ線の3つの長方形に分けます。

しゃ線の長方形の面積は、 $50 \times 16 = 800$  (cm<sup>2</sup>)です。

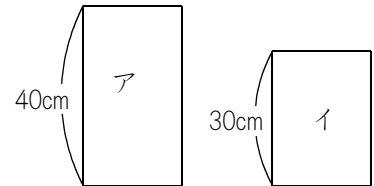
全体の面積は2340 cm<sup>2</sup>ですから、アとイの面積の和は、 $2340 - 800 = 1540$  (cm<sup>2</sup>)です。

★の長さは、 $50 - 20 = 30$  (cm)です。

また、アとイの横の長さが等しいことが、問題に書いてありました。



長方形アとイを、右の図のように切りはなして、



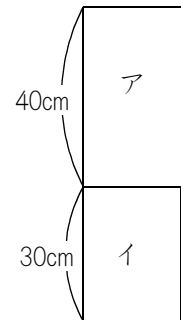
上下にくっつけます。

アとイの横の長さは等しいので、ぴったりくっつきます。

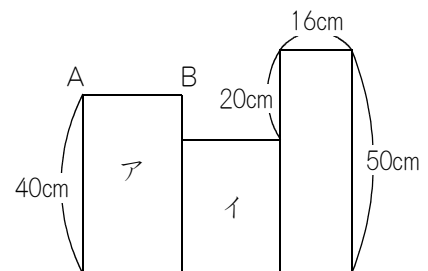
すると1つの長方形になり、この長方形の面積は、アとイの和なので1540 cm<sup>2</sup>です。

また、この長方形のたての長さは、 $40 + 30 = 70$  (cm)です。

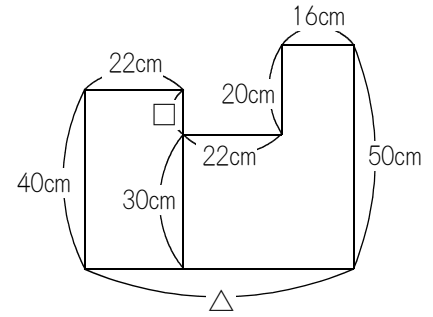
よって長方形の横の長さは  $1540 \div 70 = 22$  (cm) になります。



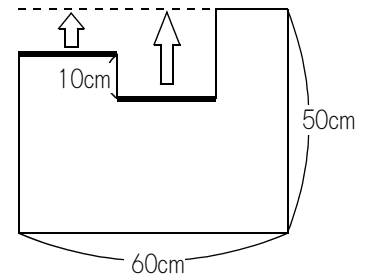
この問題は、辺ABの長さを求める問題だったので、長方形アの横の長さである **22** cmが答えになります。



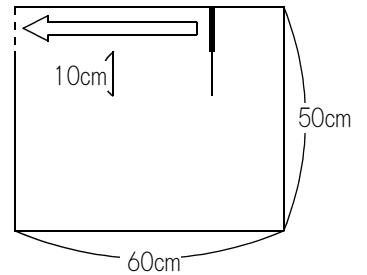
- (2) (1)で、右の図のように辺の長さがわかりました。  
 また、□の長さは、 $40 - 30 = 10$  (cm)で、  
 △の長さは、 $22 + 22 + 16 = 60$  (cm)です。



右の図のように、太線の辺を上へ移動し、



右の図のように、太線の辺を左へ移動すると、



長方形と、他に10 cmの長さの辺が2本になります。  
 このようにしても、まわりの長さは変わりません。  
 (もちろん、面積は変わります。)

長方形のたては50 cm、横は60 cmですから、  
 $(50 + 60) \times 2 + 10 \times 2 = 240$  (cm) になります。

